

■立花家橘之助 浄瑠璃演奏家。幼くして清元の真打になり、浮世節に転じて三遊派大看板、長く盛名を保った。

たちばなやきつのすけ

大政奉還・・・1867＝ 東京浅草で、田安家家臣石田良周の娘に生まれる。本名みよ。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

下谷数寄屋町の義太夫師匠竹本紋栄の家によく遊びに行き、義太夫を教えられる。

廃藩置県・・・1871＝ 4歳： 松菊亭の高座に出る。両親は芸人を好まなかったが、貧困と本人の希望で芸人にした。清元の師匠延栄にも稽古をうける。紋栄の師匠の圖橘がみよに橘之助の芸名をつけ、自分の弟子にして、

学問のすすめ1872＝ 5歳： 両国立花家で初舞台、清元を語り浮かれ節をうたう。評判がよく、

明治6年政変 1873＝ 6歳：

初の民間工場1875＝ 8歳： *空前絶後の若さで、真打に昇進。

三つの内乱・1876＝ 9歳：

・・・1880＝13歳：翌年にかけて大阪、

明治14年政変1881＝14歳：

新体詩抄・・・1882＝15歳：のち男装で、京都・名古屋の演芸場に出演。

秩父事件・・・1884＝17歳： 4年ぶりに東京に帰り、立花家に出たが、仮名垣魯文が口上を書くなど大歓迎された。

内閣発足・・・1885＝ 18歳：

清元から浮世節に転じ、

国民之友始・・・1887＝20歳： *"三府浮世節"の看板を掲げ、諸派音曲取り混ぜて演奏、名人と謳われる。

帝国憲法発布1889＝22歳：

この間、嫉妬する何者かに水銀を飲まされ、声を潰すも、三味線演奏最高の賛辞は変わらず、

郡司千島探検1893＝26歳： 6代目朝寝坊むらく(初代全亭武生)と駆け落ちして、結婚。

日清戦争始・・・1894＝ 27歳：

日比谷公園・1903＝ 36歳：

日露戦争終・・・1905＝38歳：

満鉄発足・・・1906＝39歳： 師圖橘が死去。

韓国反日暴動1907＝40歳： 夫が死去。

明治天皇没・・・1912＝ 45歳： *東京府知事から浮世節家元の認可を得た。

三味線の名人で一流の寄席芸人の地位を占め、三遊派の大看板として長く盛名をうたわれ、

橘ノ円(本名五十嵐銀次郎、前名橘家円三郎)師と再婚し、京都に住んだが、

原敬首相暗殺1921＝ 54歳：

護憲三派圧勝1924＝57歳： *表舞台からは引退し、夫とともに、名古屋に移る。

海軍軍縮条約1930＝ 63歳：

満州事変・・・1931＝64歳：

芥川直木賞始1935＝68歳： 再び京都に戻ったが、直後に、紙屋川が氾濫し、崖崩れのため、没した。